



コロナウイルスと共生：「新しい生活様式」学校生活編



佐賀県は政府の緊急事態宣言による指定から解除されました。だからといって、コロナウイルスが消滅したわけでも、ワクチンが開発されたわけでもありません。大阪府の吉村知事が語っていたように、私たちは「コロナと共生」することを覚悟し、これから新しい生活様式を作り出していかなければならないと思います。すべてが以前の生活に戻るわけではないのです。

これから当面の間、学校で感染者や濃厚接触者が出たら、その学校は即休校になります。学校の環境は施設設備的、生徒の発達段階的に気をつけていても接触が多く、どうしてもクラスターが発生しやすい環境です。だからこそ、一人一人が感染をしない、広げないように気をつけなければなりません。そこで、次のような学校生活スタイルを提案します。

- 1 通学時や学校の中では、基本として全員マスク着用。マスクをしなくていいのは、特別に外すことを許可されたときのみ。
- 2 大きな声での会話はしない。給食時の会話は控える。
- 3 教室が狭く密集するので、換気をこまめに行う。
- 4 多くの人が触れた場所を触った後には石けんと水での手洗い、消毒を徹底する。触ったままの手で顔に触れない。
- 5 物の貸し借りは控える。共有する道具は感染防止の対策を取る。
- 6 ソーシャルディスタンス(ここでは身体的距離のこと)を意識する。
- 7 日頃から、健康管理には気をつける。体調が悪いときには休む。

感染するのは怖いですが、しかし、それ以上に自分が感染しているのに、発症せずに無自覚のまま人に感染させてしまう事の方が怖いと思っています。万が一に備え、人に感染させない配慮をさせたいものです。そこで、保護者の皆さんにお願いします。マスクは登下校時から着用させてください。まだ、マスクをしてこない人がいます。そのため6月学校へ配付される布マスクを個人の予備マスクとして学校で保管することを検討中です。決まりましたら、お知らせします。よろしくお願いいたします

☀ 体育大会に向けて始動！ ☀

すでにメールやHPでお知らせしたように、今年の体育大会は、規模を縮小して6月7日(日)に開催します。種目を減らし、密集や密接を避け、午前中のみの開催(昼食は食べずに下校)とします。また、来賓は招待せず、保護者の参観も3年生のみとしています。

安全面を重視すれば、保護者の参観なし、体育大会中止という選択肢もありました。しかし教育課程上、この体育大会では座学だけでは得られない成長を毎年することができています。その成長のチャンスを残しつつ、安全面にも十分配慮して、これから体育大会の準備をしていきたいと考えています。また、せめて今年最後の中学生生活を過ごす3年生の保護者の皆さんには、その成長の姿を見ていただきたいと思います。

いろいろと不自由をおかけしますが、お互いに譲り合って、応援のほどよろしくお願いします。

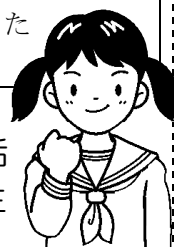


☀ やらないで後悔するより、やって後悔する方がいい ☀

5月20日(水)の朝、放送による生徒会朝会が行われました。その中で、野中生徒会長の言葉がとても心に響きました。3年生としての自覚とこれまでの経験に裏打ちされた言葉から。今の諸富中学校の状況とこれからの希望が見えたので、抜粋して紹介します。

全校の皆さんおはようございます。休校が終わり今日で学校再開5日目です。1年生の皆さん中学校の生活には慣れましたか？さて、コロナウイルス感染拡大防止で皆さんいろんな不便や不安があったと思います。これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、我慢することが増え、今まで普通だと思っていたことがすごく幸せなことだったんだと私は気づきました。3年生の皆さん、最後の1年が始まりました。どのクラスもいい雰囲気です。この学校を去るとき「諸富中の生徒でよかった」と思えるように、悔いの残らない1日1日を送りましょう。2年生の皆さん、1年生のサポートをしてください。そして3年生になり忙しくなる前に、たくさんの方に挑戦してください。たくさん失敗してもいいと思います。失敗を次に活かすことが大切です。自分の時間を大切にいろいろなことに挑戦してください。

コロナウイルスが終息するまでは時間がかかりそうです。不確かな情報や思い込みで誰かを差別することなく、今自分にできることを頑張ったり、友達のいいところを見つけたりと、プラスになることをしていきたいですね。



人生にはいくつもの選択肢や岐路がありますが、子供たちは日々の生活の中で小さな体験を繰り返しながら、生き方を学んでいます。特に3年生のめざましい成長には、驚きと喜びでいっぱいです。